

## 【家庭教育支援チーム】

### (1) 活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	南魚沼市家庭教育支援チーム (呼称:「だんぼの部屋」)
②活動拠点	南魚沼市立 六日町小学校、北辰小学校、塩沢小学校、浦佐小学校、総合支援学校
③活動範囲	南魚沼市内全域
④組織体制	18 人 地域コーディネーター(兼家庭教育支援員)1人 家庭教育支援員 17人 (家庭教育支援員 内訳) 支援団体・NPO関係者2人、拠点校保護者・元保護者 15人 (他にボランティアサポーター10数名)
⑤活動開始年度	平成20年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 南魚沼市 社会教育課 生涯学習班 (TEL)025-773-6610 (E-mail)gakusyu@city.minamiuonuma.lg.jp

### (2) 活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他(しゃべり場サロンの活動が中心。 その他に、親子ものづくり、料理教室、学習会等の開催)
②活動対象 (複数チェック可能)	<input type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施
③活動内容	<b>【具体的な活動内容】</b> ・しゃべり場サロンの開設(拠点校5校の校内・敷地内) 活動拠点である学校内、敷地内で保護者が気軽に立ち寄って思いや、悩みをつぶやける場を開設しています。つぶやきの中から活動のヒントを得ることもあります。必要に応じて、関係機関等につなげます。地域の方から学校活動につながる情報が提供されることもあります。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・だんぼ親子教室の開催 親子で一緒に作業する料理教室やもの作り教室を年に数回開催します。一緒に楽しむことで、会話も広がり、子どもは大人に感心したり、大人は子どもの成長に感動したり、いつもと違った一面が見られます。</li> <li>・だんぼ学習会の開催 保護者の方を対象に、子どもとの関わり方などをテーマにした学習会を開催します。</li> <li>・広報紙「だんぼずROOM(ルーム)」の作成・配布 日常のほっとする場面の様子を添えて、だんぼの親子教室や学習会、関係機関からの情報などをお知らせします。活動拠点の学校を中心に市内の保護者等に配布しています。</li> <li>・ミーティング 週1回、各拠点校の家庭教育支援員やコーディネーターが集まり、情報共有や、より良い対応について相談します。</li> </ul>
<p><b>④活動の成果</b> (活動実績がある場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が気軽に立ち寄ってつぶやける場所や、機会を提供できました。</li> <li>・親子料理教室やもの作り教室を通じて親子で共同作業する楽しさや、役立つ自分を発見できました。</li> <li>・家庭教育の大切さについて、本当に知ってもらいたい人達に情報を届けることの難しさを感じています。また、家庭教育支援チームの活動を正しく理解してもらうことにも苦労しています。</li> <li>・チームメンバーには、それぞれの事情で、これまでの活動が同じペースで続けられない人が出てきているため、多くの方が無理なく関わりやすい活動方法なども検討しながら、新メンバーを確保、育成していく必要があります。</li> <li>・支援を必要とする子ども達や家庭には、それに対応する知識や配慮が必要な場合もあり、チームスタッフやボランティアメンバーが研修できる機会なども大切だと感じています。</li> </ul> <p>しゃべり場サロン、親子料理教室やもの作り教室などこれまでの活動を、無理のない範囲で継続していくことが目標です。</p>
<p><b>⑤活動財源</b> (複数チェック可能)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:地域における家庭教育支援基盤構築事業 )</li> <li><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名: )</li> <li><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名: )</li> <li><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</li> <li><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</li> <li><input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ( )</li> </ul>